

第16回

女性いきいき大賞 受賞団体発表!

コープやまぐちが、山口県や報道団体などの後援を得て行っている「女性いきいき大賞」。応募された県内25団体から、選考基準に基づき、第16回目の各賞受賞団体が選ばれました。

女性いきいき大賞とは

女性いきいき大賞は、住み良い地域社会づくりと男女共同参画社会づくりをめざして創設。くらしづくり「子育て」「福祉」「地域」の4分野で募集し、女性を中心となつてチャレンジしている団体を表彰・支援し、活動が広がることを願っています。

第16回 受賞団体発表

- 最優秀賞(山口県知事賞)
特定非営利活動法人もりのこえん(山口市)★
 - 優秀賞(朝日新聞社賞)
NPO法人青い鳥動物愛護会(防府市)
 - 優秀賞(yab山口朝日放送賞)
特定非営利活動法人
チャイルドハウスひなたぼっこ(光市)
 - 優秀賞(山口新聞社賞)
異世代交流子育てサロンasis(周南市)
 - コープやまぐち奨励賞
セレーノ四つ葉(肢体不自由児・者/親と仲間の集う会)(宇部市)
周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会(周南市)
アレルギーっ子の会ほれほれ(山口市)
 - コープやまぐち奨励賞・学生の部
山口県立大学 看護栄養学部栄養学科
食育系課外活動お弁当の日プロジェクト
 - コープやまぐち組合員賞
錦町林業振興会女性部会(岩国市)
おはなしクレヨン(山口市)★
錦ホープの会(岩国市)
- ★はテーマグループ

最優秀団体

特定非営利活動法人 もりのこえん(山口市)

北欧諸国から始まった、自然の中での幼児教育森のようちえん。山口市で唯一の通年型森のようちえんを運営する「もりのこえん」は、身近な自然の中で、子どもたちがしっかりと遊びこむ経験を大切にしたいと考えて活動されています。定員は20名で、保育士、幼稚園教諭、造形教室主宰者、元自主保育運営者、元シユタイナー幼稚園スタッフ、子育て支援員、作業療法士、看護師、子育て経験者等がスタッフとして保育に関わっています。団体の成り立ちや大切にしていることについて代表の井出崎小百合さんにお伺いしました。

仲間と一緒に何かを

作り上げることが好き

28年前、第一子を出産し、初めての育児に苦戦した経験から「次の世代にはこんなしんどい育児をさせたくない!」という思いが子育て支援に関わるきっかけになったという井出崎さん。私の母の世代は、小さい時から家に兄弟の子どもが同居していたので、自然と育児が側にある環境だったんです。それに対して私は、初めて抱く子が自分の子。なにをどうすればいいかが全く分かりませんでした。初めは、同じ育児の悩みを抱える仲間たちと集まり、サークル感覚で活動していたといいます。「いろんな活動をしてきた中で、子育ての課題としてあったのが「外遊びが足りない」ということ。そこから、野外での保育について調べたり勉強したりして、とりあえずできることをやってみよう!という気持ちで2014年に「もりのこえん」がスタートしました。仲間と一緒に活動したり、人に喜ばれたりすることが何よりも好きな私にとって、楽しいことや好きなことを活かせるこの活動自体が、その原動力にもなっています。」



▲秋往還入口にある事務所(外観)

「あなたのことを大切に

想っています」と伝わる保育

子どもたちと接する時に意識していることは、子ども一人ひとりの人権を尊重して接することだと話す井出崎さん。「子どもたちに直接言わなくても、「あなたのことを大切に想っています」ということが、保育のどの場面でも伝わることをめざしています。例えば、大人同士では、他人の荷



代表
井出崎さん

子どもたちがのびのびと過ごせる時間を大切にしています

物を勝手に開けたり、体に触れたりしないでくださいね。大人にはしないことでも、相手が子どもだとつい見過ごされてしまつてしまつてあります。もりのこえんでは、子どもへの荷物を開けたり移動したり、おむつを換える際でも、必ず子どもに声をかけて了解を得ます。そんなひとつひとつの積み重ねで「大切に想っている」ということは伝えられるし、子どもたち同士も周りの人を大切にする振る舞いが出るようになります。と思っています。」

いろんな人が関わる

多様な場所になれば

女性いきいき大賞には、2014年に「すこやか育ち隊」で優秀賞となったことから縁があった井出崎さん。「山口市の上天花町では、子どもたちの姿や声が聞こえるだけで元気が出ると言ってくれています。「あなたたちは生きていくだけで尊いのだ」と子どもが存在をすべて肯定してくれる地域で育つことが出来るというのは子どもたちにとっても保育をしている私たちにとっても、この上ない喜びなのです。この素晴らしい地域を皆さんにも知ってもらいたいという思いから応募したものが最優秀賞という結果となり、受賞を知った時はとても嬉しかったです。最近では、小学生の受け入れも始められたそうです。「もりのこえんの今後の活動としては、子どもも大人も楽しんで、いろんな人が関わる多様な場所になることを目指しています。現在でも、親子で参加できるアウトドア企画や里山の暮らしを体験する機会などありますが、さらに多くの方々にこの場所を知ってもらいたいと思っています。」



▲森の果樹園で育てたみかんをおやつに



▲スタッフが見守る中のびのびと遊ぶ子どもたち

表彰式の様子

3月3日に
ココランドにて
表彰式を
行いました!



▲表彰式の様子

▲最優秀賞の「もりのこえん」の皆さん

Pick Up!

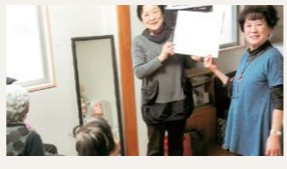
コープやまぐち組合員賞

コープやまぐち組合員賞は、今回3団体が受賞されました。各地のがんばる組合員さんを応援!その活動をご紹介します。

錦町林業振興会女性部会(岩国市)
山口県が農村の女性を対象に「女性も森林を育てる一員として、林業にかかわろう」との目的で、林業技術を習得する教室「婦人教室」を昭和54年に開催。この時の受講生によってグループが結成された。体験交流を通して、錦町の素晴らしい自然も知ってもらい、地域活性化の一助になればと思っています。



おはなしクレヨン(山口市)
大内小学校より「地域の先生を」との要請を受け、定期的に読み聞かせをするようになった。今の子どもたちはゲームやバーチャルの世界に身を置いているからこそ、肉声を届けることの意味は大きい。この活動としたいが、いつまでも継承され、多くの子どもたちが本に親しんでくれることを願っている。



錦ホープの会(岩国市)
地元岩国で気軽に集まることのできるパーキンソン病患者の交流場所を作りたいと思いがちの患者や介護者の会が、その場しのぎの「ミニミニ」ではなく、また支援を受けるばかりの立場としてではなく、地域や社会に何かを発信し、貢献できる存在になりたい。



ホームページとfacebookもご覧ください。



▲ホームページ



▲facebook

お問い合わせ
組合員活動グループ
01220・27・5520(月~金9時~18時) 予定です。
第17回女性いきいき大賞の応募受付開始は7月からの予定です。